



#worldipday

## 知財庁が「環境に優しい未来に向けたイノベーション」を支援する5つの方法

国または地域の知財庁は、とりわけ以下の5つの方法で環境に優しい未来に向けたイノベーションを支援することができます。:

### 1. 緑地での資産創造を促進する

知財庁は以下に関して極めて重要な役割を担います。:

- 持続可能なテクノロジーおよびビジネスの発展を支える国家のイノベーションエコシステムを開発する。
- 迅速な商標審査を含む標準的な知的財産出願および登録サービスを提供し、環境に優しい技術の市場進出を加速する。

### 2. 環境に優しいイノベーションを含めるために知的財産の認識および教育を拡大する

- 知財庁は、知的財産がどのように持続可能経済、技術開発、企業成長、雇用および消費者の興味を支えているかについて、国民の認識を高めることにおいて重要な役割を担っています。
- 知財庁は、環境に優しい未来を創造するために必要なことを行うことがビジネス上理に叶っているということについて、幅広い理解を促進するための支援ができます。これは、行動を変え、環境に優しいテクノロジーの導入を加速し、環境に優しい新しいテクノロジーを主流にし、環境に優しい経済への転換を前に進める最も迅速な方法です。 **This is one of the fastest ways**
- 知財庁はまた、知的財産制度の柔軟性について強調すべきです。知的所有権は、正当な所有者が環境に優しい製品の開発に費やした時間、エネルギー、費用に対する見返りを得られるようにしましたが、選択すれば、イノベーションを非商業目的またはオープンソースのような取り決めで使用することもできます。

### 3. 知的財産情報の可能性を解放する

知財庁は、知的財産書類や特に商標書類に記載されている大量のビジネス情報および技術的情報へのアクセスを促進できます。ユーザーが公的に閲覧可能な知的財産情報を検索できるようにするツールへの即時アクセスは、環境課題に対処するために改良された新しい技術的解決策の開発を推進する鍵となります。

### 4. コラボレーション/ネットワークを促進する

気候危機は一人では解決できません。各当事者は異なる能力を持っています。環境に優しい未来への道のりを築くために、幅広いステークホルダーによるコラボレー



ションがますます必要とされています。知財庁は、思想的には以下のために配置されています。:

- 環境に優しいイノベーション、技術移転、地域的な環境課題に対処するためのテクノロジーニーズの評価などのその他実践的な段階をサポートするイニシアチブを促進するために、政府全体の協力を促す。
- 環境課題に対して統一の解決策を提供できる知的所有権を束ねることについての討論を奨励および促進する。
- オペレーションとアウトプットのグリーン化を通じて、環境に優しい融資のギャップを埋め、気候の目標を現実に変換する際に重要な役割を担うビジネスコミュニティと橋を築く。
- 例えば、地域的な環境に優しいイノベーションを特定するために、WIPO GREENのようなグローバルなパートナーシップを支援し、それがグローバルなニーズに対処するために幅広く利用されるようにする。
- Technology and Innovation Support Centers (TISCs)のネットワークと積極的に協力し、テクノロジー、イノベーション、知的財産が環境課題の解決にどのように貢献できるかについて認識を高める。

#### 5. 若者を動員する

世界中で、若者たちが地球を救うと言う決意を表明し、集団的な変化を動員して、気候変動に対する行動を求めています。若者に接触を図ることで、知財庁は彼らが革新的なアイデアを生み出す支援をし、知的財産制度の戦略的な使用を通じて彼らの大志を現実に転換することができます。